

平成29年度 事業計画

公益財団法人静岡県グリーンバンクは、「緑あふれる生活環境の創造」を目的に、昭和52年に設立され、地域住民のボランティア活動支援を柱に40年の歴史を重ねてきました。

特に、人材育成の観点から公共的な「花壇」や「芝生地」等を維持管理するボランティアの研修に注力してきましたが、現在では修了生の多くが地域貢献の中心的な担い手として県内各地で活動しています。

一方、外部委員による「運営協議会」の答申「事業目的の類似する団体との統合」の検討については、県ふれあい課を含めた三者による2年に及ぶ協議で合意を重ね、平成29年4月1日 公益社団法人静岡県緑化推進協会と合併し、新たな「グリーンバンク」として発足することになりました。

新法人の事業は、「都市緑化」から「森林整備」まで幅広く、今後は、緑化活動の「ワンストップサービス化」や「コーディネート機能の強化」の他「森林との共生」等の普及啓発の課題にも、県並びに市・町との連携を一層密にして、真摯に取り組んでいく方針です。

I 緑化推進等の普及啓発と団体・人材育成 公1

1 緑化推進等に関する普及啓発事業

(1) 緑化推進等の普及啓発事業 予算5,607千円

① 調査研究情報収集

ア 緑化推進等に関する調査研究等 (グリーンバンク・緑推)

- ・国土緑化推進機構が実施する調査事業等を行う。
- ・緑化ボランティア団体等の活動状況について調査する。

イ 緑化推進等に関する情報収集等 (グリーンバンク・緑推)

- ・緑化活動に必要な各種情報（技術・運営・先進事例等）を収集する。

② 情報発信

ア HPによる情報発信 (グリーンバンク・緑推)

グリーンバンクが行う支援事業、緑化ボランティアの活動状況、その他緑化に関する施策情報等をHPで発信する。

イ 広報誌による情報発信 (グリーンバンク・緑推)

緑化ボランティア団体の活動やグリーンバンクの支援事業を周知するため

「グリーンバンクだより」を毎年春と秋の2回発行し、県市町、緑化ボランティア団体、小・中学校等に配布する。発行部数4,200冊×2回

ウ マスメディアによる情報発信 (グリーンバンク・緑推)

グリーンバンクの各種事業や広域なイベントに関する周知、また、都市緑化及び森林の整備・保全の必要性について県民の意識を高めるために新聞やテレビ等で情報発信する。

③ 普及啓発

ア 緑化推進等に関する事業への協賛 (緑推)

- ・県や国、会員等が行う「山地災害防止キャンペーン」等の森林保全や緑化推進、自然環境保全等の取組みに協力する。
- ・静岡県山林協会が行う「しずおか森林写真コンクール」に協力する。
- ・国土緑化推進機構が発行する緑化情報誌「ぐりーん もあ」等を配布し、緑化の普及啓発に努める。
- ・県内各地で行われる植樹祭や産業祭などの機会をとらえ、森林整備に取組むボランティアや次代を担う緑の少年団の活動状況等を発信する。

(2) 緑化推進等に関する指導及び相談事業 予算1,000千円 (グリーンバンク)

緑化工事を実施した施設の樹木の保護、育成管理。また、芝生化工事を実施した施設の芝生の保護、育成管理について適切な指導を行うため巡回指導を実施する。その際、技術的な質問にも対応する。

なお、県民からの緑化に関する質問については主に電話で対応し、支援団体等からの技術・運営相談については、電話及びボランティア研修等を通じて対応する。

巡回25箇所

2 緑化推進等を担う団体・人材育成事業

(1) 緑化推進等のボランティア研修事業 予算：10,000千円 (グリーンバンク)

園芸の基礎を学び、花と緑を通して地域貢献を志す人向けの「中級コース」や地域の緑化リーダーを養成する「上級コース」のほか、市町の緑化担当課(支店)が主催する「地域コース」並びにこれまでの研修修了者を対象とした「リフレッシュコース」等を実施する。また、グリーンバンク事業の普及と活用の円滑化を目指した「支店担当者研修」、「緑化グループ支援事業団体会議」、「景観づくり団体会議」を開催する。研修予定人数 3,600人

(2) 緑の少年団等、次代を担う人材の育成事業 予算2,500千円 (緑推)

緑の少年団が自然の中で森林・緑の大切さを学ぶなど、森林環境教育を推進するとともに、相互の交流と連帯を深め、人間性豊かな健康で明るい社会人の育成に

資することを目的として、交流集会を開催する。

- ・期 日：平成29年8月16日(水)～18日(金) (予定)
- ・会 場：富士山麓山の村(富士宮市)
- ・参加者：少年団指導者及び団員、大学生、自然観察指導員他
- ・内 容：森林を活用した環境教育(富士山森林内での体験学習等)
交流活動、集団生活体験(体験発表、交流ゲーム、清掃等)
自然体験 (宝永山トレッキング)

(3) 緑化推進に関する活動等の顕彰事業 予算91千円 (グリーンバンク・緑推)

① 「森の名手・名人」の推薦

国土緑化推進機構が行う「森の名手・名人」の選定について、優れた技を極め、他の技術・技能等の模範となっている人を推薦する。

② 緑化ボランティア団体等の表彰

都市緑化、森林整備、林業・木材産業の振興等に尽力し、功績のあった個人、団体を表彰する。

II 緑化推進等に関する事業の実施と活動支援 公2

1 緑化推進等に関する活動支援事業

(1) 緑化グループ活動支援事業 予算42,355千円

① 定期配布支援 (グリーンバンク)

花の会・町内会・PTA等の地域のボランティア団体が自主的に行う、学校・公園・公民館等の公共施設の緑化活動に対し、苗木・草花の種子・球根・緑化資材等を無償配布し、緑化活動を支援する。

●配布予定内容等

ア 樹木の苗木	ツツジ、サツキ、サクラなど	約9,000本
イ 草花の種子	パンジー、コスモスなど	約250kg
ウ 球根	スイセン、チューリップなど	約77万球
エ 配布対象団体	花の会、町内会、PTAなど	延5,000団体

●緑のカーテン 380校

地球温暖化及び省エネ対策の一環として子供たちの環境緑化に対する意識の向上を目指し、学校等にアサガオ、ゴーヤ等の種とネットを配布。

② 緑化グループ支援 (グリーンバンク)

花の会・町内会・園芸福祉団体などが、より高度な緑化や交流活動を行うボランティアの事業に対し支援を行う。 支援予定団体数 142団体

③ 景観づくり団体支援 (グリーンバンク)

地域の特色を生かした景観づくりのため、「首長の同意書」を条件に計画的な緑化を推進する地域住民やボランティア団体、NPO等の活動を支援する。

支援予定団体 20団体

(2) 都市緑化支援事業 予算15,150千円

① 優良景観樹木保全支援 (グリーンバンク)

松並木や桜名所など優良な景観を保全する市・町等の事業費の一部を助成する。 助成予定箇所数 26箇所

② 四季を彩る里山景観づくり支援 (グリーンバンク)

観光施設や主要道路沿い等の良好な景観を創出するため、人工林や放置竹林等を広葉樹に誘導するため伐採、植林した施業地の保育を行う市・町・森林組合等に助成する。 助成予定箇所数 1箇所

(3) 芝生を活かした緑化推進事業 予算16,600千円 (グリーンバンク)
都市緑化の資材として有効な「芝生」の普及に向け実施する公園や校庭、園庭等の「園庭等芝生化モデル事業」は、住民参加による維持管理を前提に推進する。
また、芝生の維持管理に関する人材育成のため、基礎を学ぶ1日コースの「芝生教室」や芝生アドバイザー養成のための「芝草管理講座」を開催する。

(4) 県民参加による森づくり活動の支援事業 予算98,734千円 (緑推)

① 森づくり活動支援

ア 企業の森づくり活動の推進

県が実施する「ふじのくに森の町内会」の取組みについて、「森林」に関心をよせる企業・団体等に対する相談窓口や取組みの管理事務等の支援を行う。

77団体

イ 県民と森林を結ぶ協働推進

「森づくり県民大作戦」として県が実施する森づくり活動やそれに付随する講習会等について、林業関係団体等の協賛を得て、共催等により実施する。

ウ 未来の森づくり

県の「しずおか未来の森サポーター」制度により森林整備のサポーターとして協定を締結した企業からの用途限定寄附金を活用し、森づくり団体による森づくり活動を支援する。

3団体

② 国・県等の事業活用による緑化活動支援 (緑推)

ア しずおか豊かな森づくり推進事業

国が「森林・山村多面的機能発揮対策」として実施する、地域の活動組織による森林整備や森林環境教育等の活動支援について、地域協議会として活動組織に対する国庫交付金の交付事務を担うなど、地域における緑化推進等の活動を支援する。

50団体

Ⅲ 緑の募金運動の推進（特別会計） 公3（緑推）

1 緑の募金活動推進事業

（1）緑の募金に関する普及啓発事業 予算2,640千円

① 「緑の募金だより」の発行等による情報発信

ア 「緑の募金だより」等の発行・配布

県民等に対し緑の募金の使途及び成果についての情報を提供するため、「緑の募金だより」を作成し広く配布する。 発行部数21,000部

② マスメディア等による情報発信

ア 緑の募金の普及啓発

- ・新聞や無料配布の生活情報誌、林業関係広報誌等に、緑の募金運動への協力や情報等を掲載し、緑の募金運動の拡充を図る。
- ・浜松市、静岡市、沼津市内の定期バス路線を選定し、緑の募金への協力をお願いする車内放送を行う。

イ 森林の整備・保全、緑化推進に関する普及啓発

新聞社等の報道機関が主催する環境・緑化行事等に協賛し、森林整備と保全の普及啓発を行う。

（2）募金活動の推進体制整備事業 予算8,900千円

① 募金資材の調達・配布

ア 緑の募金運動を推進するための資材購入

- ・市町緑化推進協議会等からの要望により、緑の羽根、協会オリジナルのチラシ、ポケットティッシュ、募金箱、花の種等、募金活動に必要な資材の購入等を行い配布する。 緑の羽根1,500千本
- ・募金拡大にむけて、全国共通の緑の募金運動ポスターを募金活動実施団体、企業等に配布する。 ポスター、リーフレット6,000枚

② 市町等との連携

- ・市町及び地域緑化推進協議会との調整
- ・国土緑化推進機構の開催する研修会等に参加するとともに、募金運動の方針となる「緑の募金」アクションプラン等を作成する。

2 緑化等の推進事業

（1）緑化関連行事等推進事業 予算971千円

① 緑化コンクール等への参画・開催支援

青少年の緑化思想の高揚を図るため、県下の小・中・高等学校の児童・生徒等を対象として、国土緑化運動・育樹運動ポスターの原画及び標語を公募し、優秀作品を表彰するとともに、全国コンクールに推薦する。

前年度入賞作品（特選等）については、公共の場等に「みどりの月間」を含め一定期間展示する。また、森林整備への理解を深め、県民の緑化活動への参加を促進するため、「育樹運動ポスター」等を広く配布する。

ア 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

- ・ 募集：平成29年5月～平成29年12月（予定）
- ・ 対象：県内小・中・高等学校の児童・生徒
- ・ 展示会：前年度の入賞作品 県立森林公園「バードピア浜北」
- ・ 展示期間：平成29年6月（予定）

イ 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

- ・ 募集：平成29年6月～平成29年9月（予定）
- ・ 対象：県内小・中・高等学校の児童・生徒及び一般県民

② 全国行事等への参加支援

緑化推進等に関する各種全国コンクール等を広報するとともに、該当者等の推薦と表彰式等への参加を支援する。

- ・ 第68回全国植樹祭富山県大会（平成29年5月予定）
- ・ 第41回全国育樹祭香川県大会（平成29年10月予定）

③ 森林整備等の事業への協賛

森林整備等に関する行事に協力するなど、森林の整備・保全、緑化推進の普及啓発を行う。

（2）緑の少年団等の育成支援事業 予算2,800千円

① 緑の少年団育成・活動支援

緑を愛し、緑を育てることを目的として結成された緑の少年団（52団体）の育成を図るとともに、地域や学校、環境関連団体等に幅広く働きかけるなど、新たな少年団の結成に努める。

・ 少年団に対する助成

緑の少年団の新規結成と育成強化を図るため、団の装備及び活動に要する経費を助成する。 52少年団

・ 緑の少年団交流集会の開催支援

緑の少年団の交流集会開催に必要な経費を支援する。

（3）緑化活動支援事業 予算44,583千円

緑の募金運動と森林整備、緑化活動を推進するため、各市町緑化推進団体等が

実施する緑の募金による緑化関係事業に対し、交付金を交付する。 36 団体

- ・緑の少年団、ボランティア団体等各種団体による森づくり活動への支援、森づくりのための苗木配布等の森林整備事業
- ・植樹祭、育樹祭など緑化関係行事の開催、緑化関係コンクールの実施等の普及啓発事業
- ・県内各地域のボーイスカウトによる緑化活動や野外活動、自然体験、相互交流等を促進する事業

3 森林整備等の推進事業

(1) 県民参加による森づくり支援事業 予算16,025千円

① 森づくり県民大作戦の支援

「森づくり県民大作戦」に参加し、一般県民を募集して植樹活動や森林整備活動、森林環境教育活動等を行う団体を総合的に支援する。 20 団体

② 森づくりグループの活動支援

県民による自発的、継続的な森づくり活動を促進するため、森林づくりグループが行う活動に必要な経費を支援する。 40 団体

③ 海岸林保護団体の活動支援

住民にとってかけがえのない海岸林について、地域住民等が自発的に行う苗木の植栽や除間伐、病虫害防除、廃棄物の除去などの海岸林保全活動を支援する。 5 団体

④ 学校林の活用支援

学校林の整備・保全と学校林を活用した森林環境教育等に取り組むボランティア団体等の活動を支援する。 20 団体

⑤ 林地残材の搬出モデル支援

森林資源の有効活用を持続的な森林整備につなげるため、林地に放置されたままの間伐木等を NPO 等の団体が所有者から買い取り活用する活動を支援する。 5 団体

⑥ 森林ネットワークによる森づくり活動支援

「しずおか森林ネットワーク」(ボランティア団体約90)等のネットワークの活用により、森林整備や緑化活動に関する情報を広く県民に提供するなどし、森づくり活動への参加を促進する。

(2) 地域等の森づくり支援事業 予算4,271千円

森林や緑の恵みを受ける地域全体が、その地域の森林や緑の育成に参加するという意識を醸成するため、市・町の枠を超えた地域において、住民や団体が連携して行う森林づくり活動等を支援する。

(3) 国際協力支援事業 予算300千円

海外の緑の消失が深刻な地域において、県内の非営利団体等が植林等のボランティア活動を行う場合、その活動に要する経費を支援する。 1団体